Photo: © Mari Katayama, Courtesy of Galerie Suzanne Tarasieve, Paris,and Yutaka
Kikutake Gallery, Mari Katayama Studio.　@tree of life #017E and @tree of life #018E
were commissioned by the V&A Parasol Foundation Women in Photography
project with support from the Parasol Foundation Trust
Branches and roots are repeated and continue forever. It
looks like a giant caryatid, its feet buried in the ground and
its top obscured by clouds. The giant caryatid is like a big
rainbow, with no beginning and no end, but you can
imagine an arch. People look at them and make their
wishes or try to find a beginning and an end. Lightly they
live with the pressures, burdens and gravity.
枝や根が反復しながら、どこまでも続いていく。それはまるで巨大
なカリアティードのようで、足は大地に埋まり、頂は雲に隠れてい
る。その存在は、始まりも終わりもない虹のように弧を描き、人々
はそこに起点や終点を見出そうとしながら、願いを託す。そして彼
らは、重圧や負荷、重力とともに、それらを軽やかに受け入れな
がら生きている。
VOGUE JAPAN NEWSLETTERS
VOGUE JAPAN編集部が厳選したトレンドとハイライトを毎週
お届けします。
必ず利用規約‧個人情報保護方針をご確認のうえ、同意いただける場合は「登録する」ボタンをクリッ
クして下さい。
これは、片山真理の最新作品集『Synthesis』の（裏表紙の作品
《tree of life #007》（2025）を除く）最後に掲載された《drawing
for tree of life》（2023）に手書きで添えられた文章だ。とくにその
冒頭（Branchesand roots are...）から想起されるのは、フランス
の数学者ブノワ‧マンデルブロ（1924 -2010）が提唱した幾何学の
概念「フラクタル」だ。
Photo: © Mari Katayama, Courtesy of Galerie Suzanne Tarasieve, Paris,and Yutaka
Kikutake Gallery, Mari Katayama Studio.　@tree of life #017E and @tree of life #018E
were commissioned by the V&A Parasol Foundation Women in Photography
project with support from the Parasol Foundation Trust
フラクタルとは、樹木や雲、雪の結晶、リアス式海岸の海岸線、シ
ダの葉、タコの足など自然界に見られる、一部分を拡大しても全
体と同じ形が現れる「自己相似性」を持つ構造を指す。一見する
と複雑極まりない構造に見えるが、フラクタルにおいてミクロと
マクロは同型のまま無限に反復され、永遠に循環／再帰する。そ
こには、矛盾のないシンプルな規律がもたらす安定と、終わりな
き増幅がもたらす過剰さとが、同時に宿っている。
そして文章は、重さを抱え込むのでも消し去るのでもなく、それと
共存しながら伸びやかに存在するカリアティードのイメージへと
つながっていく─それがおそらくもっとも強く体現されているの
は、本書に収められた「tree of life」と名付けられたシリーズ
（2025 -）だろう。
ケープ ￥74,800　ショーツ 参考商品／ともにKANAKO SAKAI（カナコ サカイ）
片山自身がフラクタルに言及したことはないが、彼女が好む五芒
星（ペンタグラム）は内部に小さな星形が連続して現れる構造を
持ち、また作品に欠かせないモチーフである貝殻も、形を保った
ままサイズのみを拡大する自己相似的な成長を示すという特徴
がある。こうした志向の背後には、「小さな世界で起きることは大
きな世界でも起きる。規模が拡大されるとより複雑に見えて、目
を背けたくなってしまうけれど、その構造／法則がわかれば怖く
なくなる」という彼女の信念がある。
さらに、近年の片山作品には、自身の身体パーツの「複製」をひと
針ひと針手縫いし、たくさんのそれらを連結したオブジェ─それ
は異なる生命体に見える─が繰り返し登場する。彼女はこれま
で、自身の「本来の身体」と、その何倍にも増幅した「身体の複製」
とが、演出された空間の中で相互に絡み合い、どちらかに埋も
れ、包み覆われたりする状況を、写真世界に記述してきた。しかし
「tree of life」シリーズでは、こうした直接的な複製との交わりか
ら距離が置かれる。代わりに、合わせ鏡の世界の中で、長時間露
光によって異なる時間の層を重ねながら、オブジェ＝自己相似と
の乖離と併存が試みられている。その姿は、閉じた鏡の世界にあ
りながら、過去作品に見られた緊張とは異なり、むしろ自己同
──という重圧から解き放たれたかのような伸びやかな自由を
感じさせる。
カーディガン ￥74,800／FETICO　ネックレス ￥63,800／HARUNOBUMURATA（ともに
ザ‧ウォール ショールーム）　シューズはセルジオ ロッシの協力を得て制作した第2弾ハイ
ヒール‧プロジェクトの関連作品「Mari K」。
この変化の背景には何があったのか。片山は、2011年に始動した
第1弾ハイヒール‧プロジェクト（日本にはない義足用ハイヒール
を義肢装具士とともに作り、それを着用して作品制作する取り組
み）以降、現在までに起きた自身の身体観の変容をこう語る。
「アーティスト、母、妻などのラベルを使い分けながら、さまざまな
役割‧責任が重層化した社会的レイヤーの中で生きるには、体一
つじゃ全然足りない。2つ、3つ、いやもっとあったらいいのに……
と冗談めかしていたことが、そうか、だったらむしろ皆で身体を
シェアすればいいんだ、と思えるようになってきた。私たちが生き
る社会も歴史も、共犯関係の中で醸成されてきたものだから」
それは、我々それぞれの責任や負荷を分散することで、「あなたの
ことも私のこと」として引き受けられるという、片山のアーティス
トとしての信念でもある。
9歳から義足生活を送る片山にとって、身体の一部は常に代替可
能な装置であり続けてきた。2022年に第2弾ハイヒール‧プロ
ジェクトを開始してからは、電子制御義足を開発する企業、ナブテ
スコとの協働や、セルジオ ロッシとの義足用ハイヒール制作など
を通じて、彼女の身体はこれまで以上に個人の領域を超え、制度
や技術、他者との関係の中に位置づけられるようになった。2025
年には義足ブレードによるランニングにも挑み、身体コントロー
ルを深化させた。
こうした中で、彼女は「私の身体は果たして本当に私のものなの
か」という疑問を膨らませていったというが、その結果、「かつては
『モノ』としか見ていなかった自分の身体はやはり自分のもので
ある、という意識が強まったと同時に、逆説的ではあるけれど、ど
んどん自分の身体が『みんなのもの』になっていく感覚を得て、生
きることが楽になった」と振り返る。
⽚⼭ 真理の個展「tree of life」は、Yutaka KikutakeGallery Roppongiにて5⽉16⽇まで開
催中。
政治哲学者で思想家のハンナ‧アーレントは『人間の条件』（1958
年）において、公共空間を「異なる者同士が、同じ世界を共有しな
がら出会う場所」と定義したが、片山は今、個人の身体という空間
で自分を含めた異なる他者が交わる状況、つまり、共同体として
の個を生きているのかもしれない。それは、妊娠中にも抱いた個
の中に別の個が存在する違和感が溶けていく感覚にも近いとい
う。「どちらでもないし、どちらでもあるという自由」を、彼女は手
に入れたのだ。こうした感覚は、彼女のもはや執着とも言える「エ
レガントである」ことの定義にもつながっている。
「例えば植物が互いに譲り合いながら根や枝や葉を育み、大きく
なったり枯れたりして命を反復していくというような自然界の構
造は、理にかなっている。それを私はエレガントだと思うし、そう
いう構造的強度のある作品を作っていきたい」
Photos: Theo Liu　Styling: Misaki Suzuki　Text: Maya
Nago　Special Thanks to Bruno Ceschel, Taka Arakawa at
Babylon　Editor: Yaka Matsumoto
A.A.Murakami──儚いテクノロジーが見せるアートとい
う景色
小島秀夫 × 忽那汐里──世界に熱狂を生み出す表現者
たちの対話
荒川ナッシュ医──他者の視点と経験を編み込み、豊かな
アートを探る
最新搭乗型ロボットARCHAXが載せる夢
アノック‧ヤイが巡る、文化が弾ける街‧東京──熱狂と純
真のサンクチュアリ
ライフスタイル / LIFESTYLE アート / ART 片山真理 / MARI KATAYAMA
ハイヒール‧プロジェクト / HIGH HEEL PROJECT
セルジオ ロッシ / SERGIO ROSSI 政治 / POLITICS
VOGUE JAPAN
NEWSLETTERS
VOGUE JAPAN編集部が厳選したトレンドとハイライトを
毎週お届けします。
必ず利用規約‧個人情報保護方針をご確認のうえ、同意いただける場合は「登録する」ボタン
をクリックして下さい。
SEE MORE STORIES
FASHION
BEAUTY
CELEBRITY
LIFESTYLE
RUNWAY
HOROSCOPE
VIDEO
VOGUE SHOP
PHOTOVOGUE
CONDÉ NAST JAPAN
VOGUE
WIRED
GQ
|
© Condé Nast Japan ALL RIGHTS RESERVED | WEBサイト内の商品価格表示について、2021年4月1日以降は消費税込み総額表示に統一いたしました。
LIFESTYLE / CULTURE & LIFE
片山真理が得た、軽やかな自由
9歳から義足とともに生きるアーティスト‧片山真理。代替可能な装置であった身体に対する
新たな認識を得て、「生きることが楽になった」と語る彼女の創作の現在地に迫る。
BY MAYA NAGO、YAKA MATSUMOTO
2026年4月1日
MOST POPULAR
TRENDS
BY MANAMI REN
FASHION
BY EMMA SPECTER
VOICE
BY CHLOE MALLE
セレブに学ぶ。アラフィフ世代
に似合うピンクリップの最適
解
面接には何を着て行った？
『VOGUE』エディター12人が
リアルなコーデをシェア
『プラダを着た悪魔』ふたりの
名物編集長の華麗なる共演
PROMOTION
BY CELINE
夏のドレススタイルを、小物使
いで自分らしく
MOST POPULAR
TRENDS
BY MANAMI REN
FASHION
BY EMMA SPECTER
VOICE
BY CHLOE MALLE
セレブに学ぶ。アラフィフ世代
に似合うピンクリップの最適
解
面接には何を着て行った？
『VOGUE』エディター12人が
リアルなコーデをシェア
『プラダを着た悪魔』ふたりの
名物編集長の華麗なる共演
PROMOTION
BY WAKO
オンもオフも使える、ミニマルで
上品なデザイン
MOST POPULAR
TRENDS
BY MANAMI REN
FASHION
BY EMMA SPECTER
VOICE
BY CHLOE MALLE
セレブに学ぶ。アラフィフ世代
に似合うピンクリップの最適
解
面接には何を着て行った？
『VOGUE』エディター12人が
リアルなコーデをシェア
『プラダを着た悪魔』ふたりの
名物編集長の華麗なる共演
PROMOTION
BY LONGCHAMP
通勤に頼れる知的なワークバッ
グ
MOST POPULAR
TRENDS
BY MANAMI REN
FASHION
BY EMMA SPECTER
VOICE
BY CHLOE MALLE
セレブに学ぶ。アラフィフ世代
に似合うピンクリップの最適
解
面接には何を着て行った？
『VOGUE』エディター12人が
リアルなコーデをシェア
『プラダを着た悪魔』ふたりの
名物編集長の華麗なる共演
PROMOTION
BY ALBION
西野七瀬「乃木坂46に所属して
いた20代より、今は自分がどう
年齢を重ねていくかも観察した
い」
FEATURE
PROMOTION
通勤に頼れる知的なワークバッ
グ
LONGCHAMP
ジョイフルな春を叶える、スワロ
フスキーの新作たち
SWAROVSKI
躍動する、ブルー。ランバンが描
く究極のシック
LANVIN
バーバリーの特別な夜、森星が
語る“つながり”の本質
BURBERRY
VOGUE RECOMMENDS
Ei Arakawa-Nash──Artist-Parents
PROMOTION
上品でヘルシーな輝きを放つ新
作ハイライターで、澄んだ透明
感をキープ
GIVENCHY
BEAUTY / WELLNESS
腹筋100回よりも効果的？ ヨ
ガの“舟のポーズ”がもたらす、
心身へのうれしい効果
BEAUTY / TRENDS
“ふわじゅわ”質感にハマる！　
YSL新作リップの実力レビュー
【美容ライターの速レポコスメ】
PROMOTION
ジョイフルな春を叶える、スワロ
フスキーの新作たち
SWAROVSKI
BEAUTY / TRENDS
【2026年ネイルトレンド】ガラ
スネイルが新定番に。ツヤ・透明
感・洗練を叶える最新マニキュ
ア
LIFESTYLE / CULTURE & LIFE
エンジェルナンバー「1212」の
意味とは？──直感を信じるべ
きとき。希望や充実を示すサイ
ン
PROMOTION
バーバリーの特別な夜、森星が
語る“つながり”の本質
BURBERRY
FASHION / TREND & STORY
90年代ミニマルが本格回帰。
2026年の主役パンツ5選
偏愛の時代 PROMOTION
思い出づくりにぴったりの旅先
HILTON
BEAUTY / EXPERT
男性から女性へ。変化するボ
ディライン、“しっくり”と一致す
る心と体。【実録 トランスジェン
ダー美容 part1】
LIFESTYLE / CULTURE & LIFE
九星気学で占う、四緑木星の
2024年の運勢とは？
PROMOTION
コンパクトなサイズがうれしい
日本限定カラー
CELINE
CELEBRITY / NEWS
『007』新ジェームズ・ボンド
役、ジェイコブ・エロルディにオ
ファーか
LIFESTYLE / NEWS
アンダーズ 東京 地上約250m
の空中庭園でお花見体験！ 「夜
桜プレミアムビュープラン」登場
PROMOTION
自立もできる収納力抜群のバッ
グ
WAKO
CELEBRITY / SCOOP
『プラダを着た悪魔』2作目につ
いてわかっていること。キャス
ト・あらすじ・公開情報まとめ
LIFESTYLE / NEWS
イッセイ ミヤケ特別展示「加守
田章二とIM MEN」、京都国立
近代美術館で開催中
PROMOTION
吉沢亮が心奪われた桜の情景
DIOR
CELEBRITY / NEWS
カニエ・ウェストのイギリス入国
拒否により、ワイヤレス・フェス
ティバルが開催中止
FASHION / TREND & STORY
2026年春夏ランウェイ発！ 新
時代を告げる10のトレンドキー
ワード
PROMOTION
この春はカラフルバッグで決ま
り！ おすすめの新作をチェック
RALPH LAUREN
FASHION / TREND & STORY
40歳のプリティ・プリンセス、ア
ン・ハサウェイがハリウッドの
トップファッショニスタに変貌す
るまで
利用規約と個人情報保護方針 | お問い合わせ | 採用情報 | 広告掲載 | VOGUE JAPAN ID | MAGAZINE | STAFF | SITE MAP
登録する
バーバリーの特別な夜、森星が語る“つなが
り”の本質
創業170周年の節目を迎えたバーバリー。アニバーサ
リーイヤーを祝して、世界各国からセレブリティたちが
ロンドンに集結した。
IN COLLABORATION WITH BURBERRY
READ MORE
登録する
MANAGE PREFERENCES
Japan
MAGAZINE & MEMBERS
FASHION BEAUTY CELEBRITY LIFESTYLE RUNWAY HOROSCOPE VIDEO SHOPPING